

令和元年度第2回八潮市地域公共交通協議会

開催日時	令和元年 11 月 26 日 午前 10 時から午前 11 時 45 分
開催場所	八潮メセナ会議室1・2
公開状況	公開
傍聴者数	2 人
審議結果	1 議題 (1)現状報告について ・【資料1】八潮市地域公共交通網形成計画策定スケジュール及び現状についてについて説明。 ・令和2年3月にパブリックコメントを実施し、今後の計画作成の参考とする。 ・ニーズ調査の結果では、八潮市コミュニティバスの増便やルート変更の意見が多く、今後「八潮市コミュニティバス再編計画の検討」を記載。 ・【資料2】八潮市の地域特性と公共交通の現状把握について説明。 (2)ニーズ調査の結果報告について ・【資料2】ニーズ調査について説明。 ・15歳以上の市民3,000人を対象に実施したアンケート調査の結果を報告。 ・公共交通利用者実態調査(路線バス利用者実態調査、八潮市コミュニティバス利用者実態調査)の結果を報告。 ・主要施設利用者アンケート調査(病院、商業施設、公共施設)の結果を報告。 ・交通事業者・関係団体アンケート調査の結果を報告。 ・民生委員・児童委員アンケート調査の結果を報告。 ・地域会議の結果を報告。 (3)公共交通に対する問題点・課題(案)について ・【資料2】公共交通に対する問題点・課題(案)の整理について説明。 ・現状及びニーズ調査の結果から、7点の公共交通の問題点及び課題(案)を設定。 ・今後、エリアごとの分析、考察を深め、課題や問題点などを設定する。 ○委員からの意見 ①スケジュールについて、第6回協議会でパブリックコメントの結果報告とあわせて計画の承認となっているが、パブリックコメントで取り入れるべき意見があった際には、協議会で議論する回数が少ないのではないかと。 ②民間企業送迎バスについて、医療機関のみ記載されているが、ほかにも民間企業送迎バスはあるのではないかと。八潮病院が送迎バスを運行しているが記載がない。高齢者施設などで実施するデイケアサービスなどの送迎サービスの記載がない。一般の人が利用できるかを確認して、資料としてまとめてはどうか。 ③高齢者・障がい者など交通弱者への対応について、高齢者に特化したように感じ

るため、次回の協議会までに更なる深堀や課題の整理をしていただきたい。

④交通空白・不便地域の対応について、なぜこのような状況が生じているのか。例えば北部地域は市街化調整区域であり、人口が増加しない、利用者が増えない状況の中、今後の対応について方向性を出していただきたい。

⑤道路の狭い所もあるという状況からすると、大型バスよりコミュニティバスの方が需要があるのではないかと。効率的に運行するために、大型バスではなく、小型バスによる運行を計画してはどうか。

⑥ニーズ調査でもバスを小型化し、運行本数を増やしてほしいとの意見がある。市内を運行中のバスの混雑率、乗車の状況、大型バスを運行する必要性も検討課題であると思う。

⑦バス停について、バスを待っている場所が狭く危ない場所がある。バス停の移設をした方が良いのではないかと。

○会長

②について、民間企業送迎バスの実態については、わかる範囲で調べていただきたい。デイケアサービスや企業送迎バスは、会員や社員などの限られた人が利用するものであり、病院の送迎バスは、病院を利用する人ではあるが一般の人が利用するものである。一般の人が利用できるサービスを確認し、整理してはどうか。

③について、障がい者について追記するように。

⑤、⑥について、バスをサイズダウンしても乗務員の人数やバス車両数の関係から、便数を増やすことはできない部分もある。また、事業者としては、バスサイズを変えてもコスト面は変わらないため、同じサイズの方が運用しやすいということもある。通勤・通学の利用が多いことを踏まえると、大型バスは必要であり、幹線は大型バス、小回りする場所は小型バスのような使い分けを考える必要がある。

⑦について、バス待ち環境は重要である。埼玉県バス待ちスポット制度を活用し改善していただきたい。

○事務局

①について、パブリックコメント後、次の会議まで約2ヶ月の期間があるため、その期間を利用して内容の精査をしていく。今の段階での案として、ご理解いただきたい。

②について、事務局で調べて分かっている病院だけを掲載した。ご指摘のとおり、民間企業や団体等で運行している送迎バス等についても次回協議会までに出来る限り必要な部分について確認したい。

④について、綾瀬川より西側の西袋地区は交通空白地域となっており、外環以北の八条地区、中川以南の古新田地区は交通不便地域と認識している。今後さらに分析、考察を深め、エリアごとの問題点、課題を深堀していく。

--	--